

Keysight Design Forum 2025 Tokyo

Electronic Design Automation Track

開催概要

このたび、6年ぶりに対面式での「Keysight Design Forum」を開催する運びとなりました。

本フォーラムでは、高速デジタル、高周波回路、デバイスモデリングなど、各分野で業界をリードするエキスパートの方々から設計の最新トレンドや実践的なシミュレーション事例についてご講演いただきます。

さらに、キーサイトのエンジニアによる最新ツールに関する講演やデモンストレーションも実施いたします。対面ならではのライブ感と設計効率の向上や新たな手法のヒントが満載の1日をお届けします。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日 時	2025 年 7 月 29 日(火) 10:00～17:30 (9:30 受付開始)
会 場	赤坂インターシティーコンファレンス 住所: 東京都港区赤坂 1-8-1 赤坂インターシティ AIR コンファレンス入り口: 3 階 受付 & セミナー会場: 4 階 交通: 東京メトロ 銀座線／南北線 溜池山王駅 14 番出口 直結 東京メトロ 丸ノ内線／千代田線 国会議事堂前駅 14 番出口 直結 会場アクセス: https://aicc.tokyo/access/ 
受講料	無料(事前申込制)
定 員	300 名 定員になり次第、締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。 ※同業他社の方および個人の方のご参加は、お断りさせて頂く場合がございます。あらかじめご了承ください。

≫ 詳細・お申込みは[こちら](#)



お問い合わせ先

キーサイト・ソフトウェア・イベント事務局 e-mail: software-event.japan@keysight.com



記載事項は変更になる場合があります。最新情報は Web サイトをご確認ください。

@Keysight Technologies, 2025. Published in Japan, June 26, 2025.
www.keysight.co.jp

Keysight Design Forum 2025 Tokyo – タイムテーブル –

09:30	受付開始			
10:00 - 10:40	オープニング基調講演 Keysight Technologies Senior Vice President and General Manager, Design Engineering Software Niels Faché	K1	製品の複雑化と市場投入までの時間短縮のプレッシャーが高まる中で、システムレベルのマルチフィジックス設計の進化する状況を探ります。市場動向、ワークフロー上の課題、そしてAIに対するキーサイトのアプローチについてお話しします。 【日本語通訳あり】	
10:40 - 11:20	KDF2025の歩き方 キーサイト・テクノロジー EDAソリューションエンジニアリング部	K2	高速デジタル、RFマイクロウェーブ、パワエレ、シリコンフォトニクスといった各種設計に加え、データマネジメント手法などの注目機能と、関連セッション／展示の見どころを一挙に解説します。 ご来場された皆様の、見たい・知りたい・試したいの '歩き方'ガイドとなる40分です。	
11:30 - 12:00	RF設計を革新する 新シミュレータ:Nexusのご紹介 キーサイト・テクノロジー 坂口 亮	K3	新製品 フォトニックスIC設計環境の紹介 キーサイト・テクノロジー 梅川 光晴	K4
12:00 - 13:00	昼食 (お弁当をご用意します)		【ホワイエ】 ミニセミナー (セミナー詳細ページをご覧ください) 製品展示／エンジニアへの相談	
13:00 - 13:40	通信およびレーダー向け 高出力GaN増幅器の開発事例 三菱電機株式会社 齋木 研人 様	A1	最新高速デジタル通信規格に 対応したADS新機能 キーサイト・テクノロジー 明石 芳雄	B1
13:50 - 14:30	様々な応用に向けた 無線電力伝送システムの研究開発 学校法人龍谷大学 石崎 俊雄 様	A2	超高速デジタル回路における 伝送線路設計の再確認 キーサイト・テクノロジー 明石 芳雄	B2
14:30 - 15:00	休憩 【ホワイエ】 ミニセミナー (セミナー詳細ページをご覧ください)／製品展示／エンジニアへの相談		コンパクトモデルの 民主化に向けた実践知 国立大学法人京都工芸繊維大学 新谷 道広 様	
15:00 - 15:40	300GHz帯フェーズドアレー 送受信機回路設計技術 学校法人東京理科大学 高野 恭弥 様	A3	自動車の近接照射アンテナ 及び電磁界3Dモデルの紹介 株式会社ノイズ研究所 久保 崇将 様	B3
15:50 - 16:30	高周波設計におけるモデル構築と 設定改善のベストプラクティス 株式会社 村田製作所 本多 博之 様	A4	継承されてきた基板設計 ノウハウの効果を見極める 株式会社 オンテック 徳 正一郎 様	B4
- 17:15	【ホワイエ】 製品展示／エンジニアへの相談		CR-8000 Design Forceによる 解析主導型設計のご紹介 株式会社 図研 松本 寛 様	
	ESDガンの非接触放電状態の 等価回路モデルの紹介 株式会社モーデック 櫻庭 養一 様			

* 当日は、お客様のご興味やニーズに合わせて、ご希望のセミナーに自由に参加いただけます。

* 記載事項は変更になる場合があります。最新情報は Web サイトをご確認ください。

午前のセミナー

11:30-12:00

K3

RF設計を革新する
新シミュレータ:Nexusのご紹介
キーサイト・テクノロジー 坂口 亮

NexusはADSの回路図を利用できる新しいRF回路シミュレータです。トークンライセンスのためライセンス構成に悩まされることもなく、新機能もすぐに試せます。最適化機能は、多変数でも高速な収束が期待できる新しいアルゴリズムを搭載しており、並列化することでより高速化できます。更にPythonによる容易なカスタマイズ、解析フローの自動化などで皆様の設計効率の改善に貢献します。

11:30-12:00

K4

新製品・フォトニックIC設計環境の紹介

キーサイト・テクノロジー 梅川 光晴

近年、フォトニック集積回路(PIC)の設計は、デジタルコヒーレント通信や光コンピューティングなどの複雑なトポロジを利用するようになり、設計手法はレイアウトドリブンからスキマティックドリブンへと変化しているところです。光電融合のシミュレーション環境が求められる中、本セミナーでは「ADS Photonic Designer」の最新情報と今後の発展をデモを交えてご紹介します。

11:30-11:45

ミニセミナー

ADSで実践:制御信号・モータ制御・
DCDC/パワエレ回路解析事例
キーサイト・テクノロジー 石井 正道

11:45-12:00

ミニセミナー

ADSでできるんです！
簡単便利なRFシステム設計
キーサイト・テクノロジー 勝又 祥子

お昼の時間帯のセミナー

12:10-12:25

L1 (ランチョンセミナー)

設計時間を奪う真犯人とは？
キーサイト・テクノロジー 佐貴 聡信

EDAツールの進化で設計効率は向上しているはずなのに、なぜ「時間が足りない」と感じるのでしょうか？本セミナーでは、見落とされがちな「データ管理」に焦点を当て、設計効率改善の新たな視点とキーサイトのソリューションをご紹介します。

【ホワイエ】ミニセミナー(右記参照)/製品展示/エンジニアへの相談

12:25-12:40

ミニセミナー

ADSだけじゃない！
SystemVueで広がるフェーズドアレイ設計
キーサイト・テクノロジー 勝又 祥子

12:40-12:55

ミニセミナー

意外と知らない？SIPro/PIProの便利な機能
キーサイト・テクノロジー 小川 隼人

午後のセミナー

13:00-13:40

A1

通信およびレーダー向け
高出力GaN増幅器の開発事例

三菱電機株式会社
情報技術総合研究所 マイクロ波技術部
増幅器グループ 主席研究員
齋木 研人 様

高出力電力、高効率動作が求められる移動体通信基地局、レーダー向けなどのRF電力増幅器には、耐電力・移動度が高いGaNトランジスタを用いたデバイスが幅広く用いられるようになっていきます。本講演では、これらのGaN増幅器のさらなる高性能化実現に向けた、さまざまなアプリケーション向けGaN増幅器の開発事例についてご紹介します。

13:00-13:40

B1

最新高速デジタル通信規格に対応した
ADS新機能

キーサイト・テクノロジー株式会社
ソリューションエンジニア
明石 芳雄

AI/MLや自動運転が生活の一部となりつつある現代において、高速デジタルデバイスは欠かせません。これらのデバイスには高性能だけでなく、低消費電力や低コストも求められ、設計構想段階での評価・検証に基づく最適設計が極めて重要です。本講演では、MIPI® C-PHYSMやChipletなどに対応した最新機能を紹介し、シミュレーションの活用について説明します。

13:00-13:40

C1

コンパクトモデルの民主化に向けた実践知

国立大学法人京都工芸繊維大学
電気電子工学系 准教授
新谷 道広 様

極低温CMOS・SiCパワーデバイス、メモリスト等のエマージェンシングデバイスにおいて、標準モデルの不在は回路設計のボトルネックとなっています。本講演では、Keysight社IC-CAPによるパラメータ抽出や機械学習を活用したモデル構築手法を紹介します。大学研究室によるモデル自作の取り組みを通じて、商用EDAツールとの連携による設計開発の加速と“コンパクトモデリング民主化”の可能性について議論します。

13:50-14:30

A2

様々な応用に向けた
無線電力伝送システムの研究開発

学校法人龍谷大学
先端理工学部 電子情報通信課程 教授
石崎 俊雄 様

無線電力伝送システムの早期実用化と普及が社会から強く期待されている。本講演では、私が取り組んでいる無線電力伝送システムの研究について解説を行う。具体的なアプリケーションとして、屋内内のスマートフォンを自在に充電する3次元フリーアクセスWPTシステム、走行中の電気自動車に給電する移動型WPTシステム、バッテリーレス・センサーネットワークを構築するミリ波電力伝送システムなどの開発状況を紹介する。

13:50-14:30

B2

超高速デジタル回路における
伝送線路設計の再確認

キーサイト・テクノロジー株式会社
ソリューションエンジニア
明石 芳雄

近年、デジタル信号の速度は10Gbpsを超えることが一般的となり、標準的なサイズのPCBでも伝送線路1本に複数の信号パルスが存在します。また、PCB材料や銅箔に起因する高周波での信号減衰による波形品質の低下が顕著になります。さらに、クロストークの影響を考慮した設計も求められます。本講演では、実際の通信規格を想定したシミュレーションを用いて、改善方法や問題解決のヒントを提供します。

13:50-14:30

C2

オープンソースの極低温データを用いた
ANNモデリング事例

Keysight認定エキスパート
吉富 貞幸 様

量子コンピュータシステムの実現には、4ケルビンで動作するコンパクトモデルが必要で、実現に向けた研究が進んでいます。私は、IC-CAPのラインナップの1つであるANN Model Generatorに着目し、オープンソースで公開されている-269.1度のCMOSの実測データにANNモデルを適用したところ精度良い結果が得られました。ANNモデリングの過程で工夫したこと等を交えてご紹介致します。

午後の休憩時間

【ホワイエ】 ミニセミナー(右記参照)／製品展示／エンジニアへの相談

14:35-14:50

今が始めどき:PythonでADSを自動・効率化

キーサイト・テクノロジー 中島 志温

ミニセミナー

15:00-15:40

A3

300GHz帯フェーズドアレー 送受信機回路設計技術

学校法人東京理科大学

創域理工学部電気電子情報工学科
准教授

高野 恭弥 様

300GHz帯フェーズドアレーCMOS送受信機およびSiGe BiCMOS電力増幅器の設計手法を紹介する。高周波ではレイアウトが回路特性に大きく影響し、変位電流ループを意識した信号線とGNDの対配置が重要となる。回路安定性の確認にはNDFやOhtomo法を用いる必要がある。ミキサ設計はシステム構成に応じて最適化され、Keysight ADSやIC-CAPを用いた設計・モデリングについても解説する。

15:00-15:40

B3

自動車の近接照射アンテナ及び 電磁界3Dモデルの紹介

株式会社ノイズ研究所

商品開発部RFシステム課 課長

久保 崇将 様

インターネットに常時接続される「コネクテッドカー」の普及に伴い、車両には様々なセンサー、通信機器を含む電子機器が搭載されるようになりました。それに伴い、これらの機器と搭乗者が所持しているモバイル端末の干渉が課題として上がっています。

弊社は、2021年に国際規格 ISO 11452-9として規格化されました近接照射試験の広帯域スリープアンテナを開発、販売しています。

本セミナーの前半では、自動車の近接照射試験の概要とアンテナの性能についてご紹介し、後半では、株式会社モーデックによる広帯域スリープアンテナの電磁界解析用3Dモデルとその解析結果の一例をご紹介します。

15:00-15:40

C3

CR-8000 Design Forceによる 解析主導型設計のご紹介

株式会社 図研

事業本部 SE統括部 第一SE部 第三SE課
チーフエンジニア

松本 寛 様

高密度・高速化が進む電子機器設計において、初期段階からの課題予防が重要です。本講演では、CR-8000 Design ForceとKeysight EDA Software ADSとの連携による解析主導型設計の最新手法をご紹介します。設計初期からSIおよびPI/EMC観点での設計品質をどう作り込むか、実践的なアプローチを動画を交えて解説します。

15:50-16:30

A4

高周波設計におけるモデル構築と 設定改善のベストプラクティス

株式会社 村田製作所

EMI事業部 DX販売推進部
シニアデジタルプロダクトエンジニア

本多 宏之 様

回路設計において、シミュレーションモデルを適切に設定して使用することが正確な解析への第一歩です。本講演では、弊社のシミュレーションモデルを用いた高周波・高速デジタル向け基板設計における精度向上への取り組みをご紹介します。電磁界解析におけるポート設定の課題を具体例として取り上げ、Keysight様との協業による検証結果を交えて解説します。モデル構築における工夫や設定最適化のポイント、改善事例を共有し、今後の展望についても示します。

15:50-16:30

B4

継承されてきた基板設計ノウハウの 効果を見極める

株式会社 オンテック

プリント回路デザイン技術本部
執行役員技術本部長

徳 正一郎 様

長年継承されてきた基板設計ノウハウの効果は、現在の電子回路にどれほど有効か明確な情報が少なく、有用な検証結果もほとんど見当たりません。本発表では、簡単な実験基板を製造し、EMIの要因やPDN構成の影響、配線長調整手法等を実測とシミュレーションで詳細に検証し今後の基板設計指針として活用できる知見を提供します。

15:50-16:30

C4

ESDガンの非接触放電状態の 等価回路モデルの紹介

株式会社モーデック

ターンキーソリューション課
課長

櫻庭 養一 様

ESD試験は、製品の信頼性と安全性を保証し、市場での故障防止の基盤となります。機器の小型化、低コスト化の要求を理由に小型ESD対策部品の採用によってESD性能マージンも減少しつつあります。

本セミナーでは、非接触放電状態を模擬したESD試験機の等価回路シミュレーションについてモーデックの実績とそのモデリング手法の要素技術の一部を紹介します。

≫ 詳細・お申込みは[こちら](#)



お問い合わせ先

キーサイト・ソフトウェア・イベント事務局 e-mail: software-event.japan@keysight.com